



平成 19 年 9 月 19 日

各 位

会社名 株式会社レイ
代表者名 代表取締役社長 分部 日出男
(J A S D A Q ・ コード 4 3 1 7)
問合せ先 取締役 中村 準三
連絡先 コーポレートプランニング室
電話 0 3 - 5 7 9 2 - 7 4 2 8

**平成 2 0 年 2 月 期 中 間 (連 結) 業 績 予 想 と の 差 異 及 び
通 期 (連 結) 業 績 予 想 及 び 期 末 配 当 予 想 の 修 正 に つ い て**

平成 20 年 2 月 期 (平成 19 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 2 月 29 日) の業績予想について、平成 19 年 4 月 13 日付当社「平成 19 年 2 月 期 決 算 短 信 (連 結) 」 及 び 同 日 付 当 社 「 平 成 1 9 年 2 月 期 個 別 財 務 諸 表 の 概 要 」 に て 発 表 いた した 中 間 業 績 予 想 と の 差 異 、 業 績 予 想 及 び 期 末 配 当 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 いた します。

1 . 平 成 2 0 年 2 月 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 等

(1) 中 間 期 (平 成 1 9 年 3 月 1 日 ~ 平 成 1 9 年 8 月 3 1 日)

(単 位 : 百 万 円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	4,767	41	81
今 回 修 正 (B)	4,482	180	150
増 減 額 (B - A)	285	139	69
増 減 率	6.0%		

(2) 修 正 理 由

売上高につきましては、コンテンツ事業で、当初第 3 四半期に発売予定でありました大型音楽 DVD が、第 2 四半期に前倒しされたものの、大型展示会が減少したため、セールスプロモーション (SP) ・ イベント部門で売上が伸びず、上半期の計画に達しなかったことにより、売上高は、44 億 82 百万円 (当初予想比 : 2 億 85 百万円の減少) となる見込みであります。

利益面におきましては、コンテンツ事業で DVD の販売不振から、在庫等の償却負担が大きく、計画に対し大幅なマイナスとなっております。その結果、経常損失は、1 億 80 百万円 (当初予想比 : 1 億 39 百万円の損失の増加) となる見込みであります。また特別損益で子会社売却益 (61 百万円) 等が発生し

た事から、中間純損失は、1億50百万円（当初予想比：69百万円の損失増加）の見込みです。

（3）通期（平成19年3月1日～平成20年2月29日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 期末配当金
前回予想（A）	10,330	168	66	2円00銭
今回修正（B）	9,500	30	10	0円00銭
増減額（B - A）	830	138	76	2円00銭
増減率	8.0%	82.1%		

（4）修正理由

売上高につきましては、秋の展示会シーズンに向けて、積極的な営業攻勢をかけておりますが、上半期に前倒しされた大型音楽DVDの減少分を含め、上半期の未達分を埋め合わせるには至らず、通期の売上につきましては、当初の計画達成は厳しい状況となっております。利益面におきましては、上半期におこなった経費削減努力を下半期も継続いたしますが、コンテンツ事業の在庫等の償却を継続するため、上半期の落ち込みをカバーするのは厳しいものと見ております。その結果、売上高は、95億円（当初予想比：8億30百万円の減少）経常利益は、30百万円（当初予想比：1億38百万円の減少）当期純損失は、10百万円（当初予想比：76百万円の損失の増加）となる見込みであります。

上記見込みに伴い、当初1株あたりの期末配当予想を2円00銭と発表しておりましたが、現時点での見込みからいって、配当実施は厳しい状況となっております。従いまして、期末配当金の予想を無配と修正させていただきます。

（5）ご参考：前期の実績（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期（3/1～8/31）	4,551	5	23
通期（3/1～2/28）	9,861	35	28

以上